

卸系多収米

福井の稲作を『強い粒づくり』大粒&多収でつなぐ

KYOU-RYU. EXPRESS

令和6年7月12日

JA福井県

つきあかり速報 No.6

高温耐性品種で多収と高品質を目指して!!

今年の梅雨明け予報が発表され、九州南部から20日(土)より順次梅雨明けしていく予報で、平年並みか平年より遅い見込みです。北陸地方は22日(月)の梅雨明けの見込みで平年並みの予報となっています。今週も梅雨前線へ向かって暖かく湿った空気の流れ込みの影響で前線の活動が活発化し雨量の多い週間となりました。梅雨末期の大雨に今後ご注意ください。今週のつきあかりは、幼穂の伸長が確認され、出穂が目前となりました。圃場は湛水状態にし適正な管理に努めてください。

1. JA生育調査状況 (7月10日現在)

栽培区分	平均作業日	草丈cm	茎数本/㎡	葉令	葉色	幼穂
移植	5月4日	91.6	274.6	-	4.6	穂ばらみ

週末には、出穂の見込みで、来週には、穂揃期を迎えると考えられます。

【平年比】

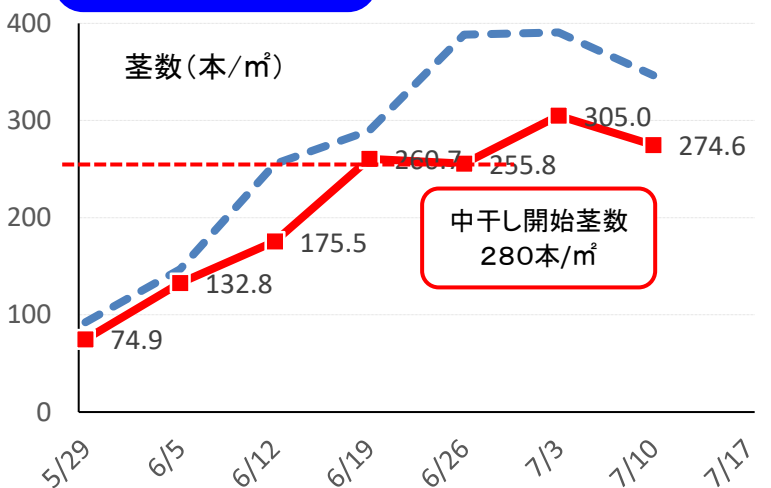
●草丈:並み ●茎数:並み ●葉色:並み

走り穂



2. 茎数の推移と今後の管理

移植 5月4日～



3. つきあかり栽培管理のポイント!

病害虫対策

① いもち病が発生しやすい気候です。発病は減収にります。病斑を確認したら治癒剤などで速やかに防除を行いましょう。



② カメムシ対策(注意報 7/9付 発表): 麦跡雑草地でのカメムシすくい取り調査で、カメムシが多数見られます。早生出穂までに、草刈やすき込み等の対応をしましょう。ただし遅れた草刈りは、かえって水田へカメムシを呼び込むのでやめましょう。防除は、山沿いや、雑草の多い畦畔の近辺では特にカメムシの発生が多いので必ず防除を実施し、隣接する休耕田や転作田等にも薬剤を散布しましょう。

斑点米カメムシ類の発生量は、平年より多く、前年よりやや多い予報です。

アカスジカスミカメ

ホソハラカメムシ

クモヘリカメムシ



アキヒゲホソドミカスミカメ

トゲシラホシカメムシ

コバネヒョウタンナガカメムシ